

13. さやいんげん

・殺菌剤（参考農薬）

FRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
12	セイビアーフロアブル20	散布	収穫前日まで	3回以内	

・殺虫剤

FRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
1	エルサン乳剤	散布	収穫7日前まで	1回	
3	アグロスリン乳剤	散布	収穫7日前まで	3回以内	
1	マラソン乳剤	散布	収穫7日前まで	3回以内	豆類(未成熟)

・殺虫剤（参考農薬）

IRACコード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
4	アドマイヤー1粒剤	植穴土壌混和	定植時又はは種時	1回	
6	アフーム乳剤	散布	収穫前日まで	2回以内	
1	ダイアジノン乳剤40	散布	収穫開始7日前まで	3回以内	
21	ダニトロンフロアブル	散布	収穫前日まで	1回	
10	ニッソラン水和剤	散布	収穫前日まで	2回以内	
4	モスピラン顆粒水溶剤	散布	収穫前日まで	3回以内	

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける（「薬剤抵抗性管理」参照）。

注3) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。

病害虫名（F：菌類病、B：細菌病、V：ウイルス病、O：その他の病原体）

病害虫名	防除時期	防 除 方 法	注 意 事 項
灰色かび病 (F)	生育期間	[参考農薬] 1. セイビアーフロアブル20の1,000～1,500倍液を散布する。	1. セイビアーはレタスにかからないようにする(薬害)。
さび病 (F)	生育期間	1. 発病した茎葉残さは、ほ場内に放置しない。	1. 連作すると発生が多くなる。
アブラムシ類 (ウイルス媒介)	は種時又は定植時 生育期間	[参考農薬] 1. アドマイヤー1粒剤を株当たり1～2g(ただし、6kg/10aまで)植穴土壌混和する。 1. マラソン乳剤2,000倍液を散布する。 [参考農薬] 1. ダイアジノン乳剤40の1,000倍液、又はモスピラン顆粒水溶剤2,000～4000倍液を散布する。	1. 種子は、健全株より採種する。 2. アドマイヤー、モスピランは蚕毒に、ダイアジノンは魚毒に特に注意する(特別指導事項参照)。
ハダニ類	生育期間	[参考農薬] 1. ダニトロンフロアブル1,000～2,000倍液、又はニッソラン水和剤2,000倍液を散布する。	1. ダニトロンは蚕毒に注意する。
インゲンテントウ	生育期間	1. エルサン乳剤1,000倍液、アグロスリン乳剤、マラソン乳剤の2,000倍液のいずれかを散布する。	1. アグロスリンは蚕毒及び魚毒に、エルサンは魚毒に特に注意する(特別指導事項参照)。
ハモグリバエ類	生育期間	[参考農薬] 1. アフーム乳剤2,000倍液を散布する。	1. アフームは蚕毒及び魚毒に特に注意する(特別指導事項参照)。